

東高関支道交第438号
平成30年11月15日

公益社団法人 長野県トラック協会
会長 小池 長 様

東日本高速道路株式会社 関東支社
道路管制センター長 齋藤 辰哉

交通事故防止に向けた広報啓発のお願い

拝啓 晩秋の候、貴協会におかれましてはますます御盛栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、高速道路等における交通安全対策につきましては、日頃よりご協力をいただいているところですが、弊社関東支社管内の高速道路等においては、昨年や一昨年に比べて年当初から交通死亡事故が多発しており、一向に交通死亡事故の発生に歯止めがかからない状況になっております。特に大型車が関係する事故は死傷事故や長時間の通行止めを伴うなど、社会的にも影響のある事故に発展する可能性があります。

つきましては、貴協会所属会員の皆様へより一層の安全運転に心掛けていただくとともに、下記の広報啓発にご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

【死亡事故発生状況】NEXCO 東日本関東支社調べ

◆H28年度以降、死亡事故が増加。10月31日時点で昨年比+2件（1名）。

	死亡事故件数	死亡者数
平成28年	14件	16名
平成29年	22件	24名
平成30年	24件（※10月末時点）	25名（※10月末時点）

【広報啓発内容】

1. 休憩施設で早めの休憩をお願いします。

特に長時間、走行する必要がある場合は、居眠り運転防止、疲労回復を優先した適切な運行管理をお願いします。（居眠り運転防止）

2. 夜間時は原則ハイビーム（上向きライト）で走行してください。

ハイビームは、故障車などをいち早く発見し危険を回避することができます。ただし先行車や対向車がいる場合には、適宜、ロービーム（下向きライト）に切り替えての走行をお願いします。（路上障害物等（事故車等）の早期発見、危険回避）

3. 運転中は十分な車間距離をとり、わき見をせずに前方に集中してください。

事故の多くは車間距離が短いことや前方不注視が原因で発生しています。

100 km/hの速度では1秒間に約28mも進みます。わき見運転は追突事故の原因となりますので安全走行をお願いします。（わき見運転、漫然運転防止）

4. 冬用タイヤの装着やチェーン携行をお願いします。

冬になると出発地は晴れていても目的地や通過地点で雪が降っていることもあります。冬の高速道路では、スタッドレスタイヤ等の冬用タイヤの装着とタイヤチェーンを携行していただくとともに、雪道でのスピードは控え、安全運転をお願いします。

以上

高速道路での 死亡事故急増中!



関東支社管内 最近の交通死亡事故発生状況

今年の死亡事故が急増。
既にここ2年の累計を超過!

	死亡事故件数	死亡者数
平成28年	14件	16件
平成29年	22件	24件
平成30年	24件 ※10月末時点	25件 ※10月末時点

「交通安全啓発のポイント」徹底!

高速道路の異状を発見したら、安全を確認して、
非常電話 または、道路緊急ダイヤル
#9910にご一報下さい。

高速道路に関する情報は「ドラぷら」で
www.driveplaza.com/

ドラぷら 検索

あなたに、ベスト・ウェイ。



交通安全啓発のポイント

《死亡事故の傾向と対策》

○深夜から早朝(3時～7時台)、夕方の時間帯に多い

- ▶ STOP居眠り運転!
疲れを感じたら 休憩施設で早めの休憩を
- ▶ 夕暮れ時、早めのライトオン!
前方の故障車等を早く発見、危険回避を
- ▶ 夜間走行時は原則ハイビーム!
先行車、対向車がいる場合には適宜ロービームに切り替えを

○前方の発見遅れによる 追突事故が多い

- ▶ 『この先 事故、故障、渋滞等の緊急事態があるかも』を強く意識して!
- ▶ わき見運転防止!
スマートフォン等のながら運転にも注意!
- ▶ 前車との安全な距離を保ち、危険回避を!
速度と同じ距離の車間距離が必要!(80km/hであれば80m)
路面が濡れている時、積雪・凍結路面は、普段の2倍以上の車間距離を
- ▶ 安全速度の徹底!
カーブ手前では速度を十分に落として



《冬の高速道路危険ポイント》

- * カーブ手前 ⇒ 減速し、急ハンドル・急ブレーキ厳禁!
- * 橋の上 ⇒ 吹きさらしの風で凍結、スリップ要注意!
- * 長い下り坂 ⇒ スピードダウン、車間距離の確保!
- * トンネル出入口 ⇒ 風が強く突然の降雪! トンネル内凍結も注意!
- * 日陰の路面 ⇒ 気温が低く凍結注意!



雪道でのスピードは控え、運転技術や車の性能を過信せず、安全運転を!
そして、早めの冬装備(冬タイヤ、チェーン携行)の徹底を!

